

ある あさ、目を さますと、
ポチが、しんで いた。

ポチの からだは、つめたかった。

ぼくたちは、ポチを にわに
うめた。

ぼくも パパも ママも ないていた。

ぼくは、ママに

「かなしいよ。」と いった。

① ある あさ、目を さますと、
ポチは、どうなって いましたか。

ポチは

[

]

② ぼくたちは、しんだ ポチを
どう しましたか。

にわに

[

]

③ ぼくは、だれに なんと いったで
しょう。

だれに

なんと

[

に

]

いった。

と